

令和4年(2022年) 10月4日(火) 13975号



株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL : 06-6353-7831
 FAX : 06-6353-7832
 MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB : https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は2万円引き上げの115万円

9月の確定建値平均は115万8,500円

JX金属は3日、電気銅建値を2万円引き上げの115万円と発表、同日より実施した。9月の確定建値平均は115万8,500円。

1日に入電した直近のLME銅相場前場売値が7,647.00ドル。3日の東京市場の米ドルTTSレートは145.89円。この値で換算した採算価格は、111万5,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万4,400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

5月	1280(9)	1260(11)	1220(13)	1250(17)	1230(19)	1260(23)	
		1250(26)					平均1250.6
6月	1270(1)	1340(7)	1360(9)	1330(13)	1290(15)	1260(17)	
		1270(22)	1180(24)				平均1270.0
7月	1170(1)	1130(5)	1080(7)	1100(11)	1050(13)	1070(19)	
		1050(22)	1080(27)				平均1085.5
8月	1110(1)	1090(3)	1110(8)	1140(12)	1110(16)	1140(19)	
		1160(23)	1170(26)				平均1129.5
9月	1140(1)	1120(5)	1160(7)	1190(9)	1210(13)	1180(15)	
		1170(21)	1130(26)				平均1158.5
10月	1150(3)						平均1150.0

Nikkan Kinzoku

home.



黄銅削粉買値は23円引き上げの844円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は3日、黄銅削粉買値を23円引き上げの844円と発表した。今月1回目の改定。



亜鉛建値は2万7,000円引き上げ 49万円

9月の確定建値平均は50万2,300円

三井金属鉱業は3日、電気亜鉛建値を2万7,000円引き上げの49万円にすると発表、同日より実施した。9月の確定建値平均は50万2,300円。

1日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は2,986.00ドル。3日の東京市場の米ドルTTSレートは145.89円。この値で換算した採算価格は、43万5,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万4,400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

5月	571(9)	532(12)	517(17)	529(20)	532(26)		平均535.5
6月	562(1)	565(7)	562(10)	532(15)	526(20)		平均543.6
7月	484(1)	466(6)	484(11)	469(14)	472(20)		平均474.3
8月	508(1)	511(4)	532(9)	562(17)	544(22)	559(26)	平均537.0
9月	547(1)	502(6)	505(12)	517(15)	493(21)	463(27)	平均502.3



鉛建値は1万8,000円引き上げ 33万6,000円

9月の確定建値平均は33万3,900円

三菱マテリアルは3日、電気鉛建値を1万8,000円引き上げの33万6,000円にすると発表、同日より実施した。9月の確定建値平均は33万3,900円。

1日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は1,889.00ドル。3日の東京市場の米ドルTTSレートは145.89円。この値で換算した採算価格は、27万5,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

5月	357(2)	339(11)	327(19)				平均337.1
6月	342(1)	357(8)	336(16)				平均343.1
7月	324(1)	333(8)	330(14)	336(25)			平均330.6
8月	336(1)	345(8)	339(24)				平均340.7
9月	336(1)	339(8)	342(14)	318(26)			平均333.9
10月	336(3)						平均336.0



錫建値は据え置き

4,450円

9月の確定平均価格は4,500円

三菱マテリアルは3日、高純度錫地金(99.99%=フォーナイン)の相対価格を据え置ききの4,450円にすると発表、同日より適用した。9月の確定平均価格は4,500円。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

2022年

5月…	6,700(2)	6,400(10)	5,900(16)	平均6,130.0
6月…	5,900(1)	6,300(8)	6,000(14)	5,800(20)
	5,200(24)			平均5,810.0
7月…	5,100(1)	4,900(14)		平均4,990.0

8月…	4,800(1)	平均4,800.0
9月…	4,700(1) 4,450(7)	平均4,500.0
10月…	4,450(3)	平均4,450.0



インジウムの10月建値は

大口が据え置ききの4万1,000円

小口は2,000円引き上げの4万5,000円

DOWAエレクトロニクス

DOWAエレクトロニクスは10月1日出荷分より、インジウム4N(ITOグレード)の建値を、大口が据え置ききの4万1,000円、小口は2,000円引き上げの4万5,000円。

タイへ エネマネシステムを納入

多台数パワ・コンで統合制御

住友電工

住友電気工業株式会社(井上治社長)はこのほど、関西電力株式会社(森望執行役社長、KEPCO)とタイ国の関西エナジーソリューションズ社(K-EST)が手がけている第三者所有型電力購入契約(サービスオンサイトPPA)向けに、蓄電池を活用するエネルギーマネジメントシステム「sEMSA®-F」を納入したと発表した。

サービスオンサイトPPA(Power Purchase Agreement)は、電力事業者が需要家の敷地内の屋根などに無償で太陽光発電設備を設置、発電電気を需要家が使うことで、電気料金とCO2排出量の低減が可能となるサービス。sEMSA®-Fは、住友電工独自のアーキテクチャを搭載した、大規模工場向けエネルギーマネジメントシステム。普及が進む太陽光発電、コージェネレーションシステム、蓄電池などの分散電源を最適制御し、電力コストの低減を図る。

今回sEMSA®-Fを納入したサイトは、川崎重工グループのカワサキモータース・エンタープライズ・タイランド社。同社がKEPCO・K-ESTとPPAサービス契約を行い、屋根に太陽光発電5MW分を設置し、550kWh蓄電池を導入するのに伴って住友電工が納入した。

多台数PCS(パワー・コンディショナ)統合制御は、初期費用を抑えるため、コストパフォーマンスに優れた小容量PCSを多台数使用したメガソーラーでの開設事例が増えている。sEMSA®-Fは、多台数の太陽電池PCSや蓄電池PCSを同時に監視、制御することができるため、1台のsEMSA®-Fで統合的な運用が可能。

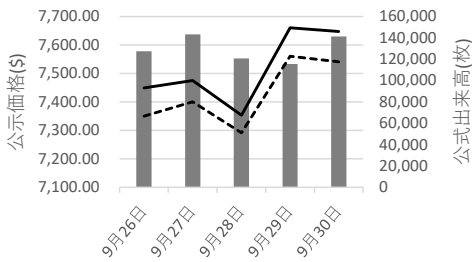
需要家側での再生可能エネルギーによる発電電力が増大すると、商用系統にその電力が逆流する「逆潮流」が発生する可能性がある。sEMSA®-Fは、工場などで必要とされる電力量と太陽光発電量を予測し、蓄電池や再生可能エネルギーを組み合わせた充放電を自動的に行うことで逆潮流を未然に回避、常時安定的にシステムが稼働。

nikkankinzoku.co.jp

PW nikkin202210

✓ LME公式値週間推移 9月26日~9月30日(現地)

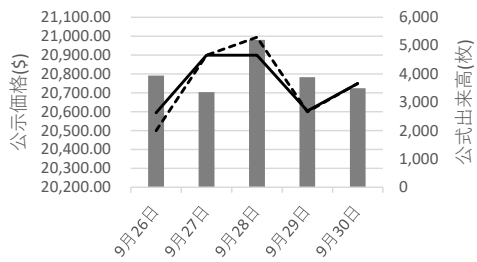
LME銅AG



	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	9月30日
出来高	127,508	143,205	120,687	115,499	141,346
直物	7,449.00	7,475.00	7,353.00	7,660.50	7,647.00
先物	7,350.00	7,400.00	7,291.50	7,560.00	7,540.50

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LME錫HG



	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	9月30日
出来高	3,941	3,361	5,204	3,884	3,498
直物	20,595.00	20,900.00	20,900.00	20,605.00	20,750.00
先物	20,500.00	20,900.00	20,995.00	20,600.00	20,750.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

※ 9月30日の出来高は速報値です。



住友金属鉱山・住友商事 (063)

チリ鉱業協会賞を受賞

～ケブラダ・ブランカ銅鉱山開発プロジェクト～

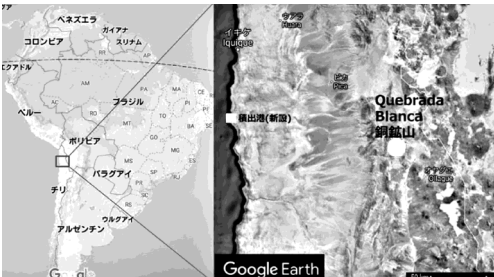
新興国のインフラをはじめ自動車のEV化などから、さらなる需要増が見込まれる銅。その鉱石産出大国の南米チリ共和国で、住友金属鉱山株式会社(野崎明社長)と住友商事株式会社(兵頭誠之社長執行役員CEO)が資源メジャーのテック・リソーシズ社(カナダ・バンクーバー)と推進しているケブラダ・ブランカ銅鉱山開発プロジェクト(QB2)が、このほど「チリ鉱業協会」(Sociedad Nacional de Minería)の「2022年度チリ鉱業協会賞」を受賞した。

住友両社は2019年にも他の鉱山事業で同賞を受賞。世界の権益獲得競争の追い風になることも期待されている。

同鉱山はチリ北部タラバカ州にあり、首都のサンチャゴ市からは1,500kmの距離。イキケ市の南東240kmに位置し、標高は4,400mもある。

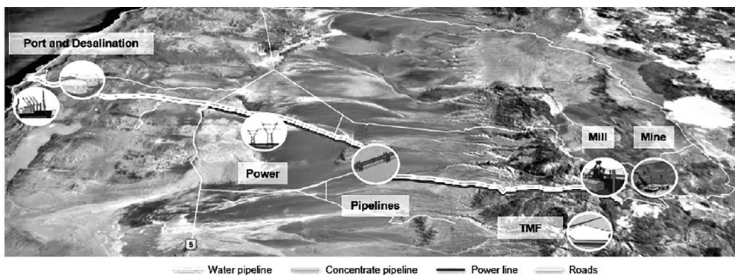
露天掘りで、浮遊選鉱により銅、モリブデン精鉱を産出している。可採鉱量は銅約7百万トンとされ、資源量は銅が約24百万トン(参入時銅量約18百万トン)、メインライフは約28年(可採鉱量のみ)。平均年間生産量(含有金属量)は銅24万トンのほかモリブデン、銀となっている。

現地は特に、標高が高く、地下水を汲み上げられないという厳しい環境。また港湾からも遠く、重要な水は165kmのパイプラインで送る必要があり、海水脱塩設備などの整備・維持管理なども重要になっている。



ケブラダ・ブランカ銅鉱山の概要

プロジェクト施設の配置図



左から積出港と海水脱塩施設、送電線、パイプライン、QB銅鉱山施設(選鉱場、尾鉱ダム、採掘ピット)



授賞式の様子

SONAMIは、チリにおける70以上の鉱山会社をメンバーに持つ団体。毎年8月、大規模鉱山、中規模鉱山、小規模鉱山から各々1社を選び表彰している。

今回は、QB2プロジェクトが新型コロナ禍前の2019年に着工されたものの、感染拡大という困難の中で建設が進められ、さらに設備運営も含め持続可能で責任ある鉱業の発展に寄与していると評価された。授賞式には、チリ共和国のガブリエル・ポリッチ大統領やニコラス・グラウ経済大臣、マルセラ・エルナンド鉱業大臣らも列席した。

周知のように、銅は中国やインドをはじめとした新興国でのインフラ需要の拡大に加え、ハイブリッド・EV車の普及に伴い世界的に需要増加が見込まれている。チリは銅鉱石の世界最大の産出国で、自国にとっても銅生産はきわめて重要な産業になっている。

日本も銅資源の産出国だったが、銅精鉱を海外からの輸入に依存。長期安定的な確保のため、日本の金属・鉱山会社はチリをはじめ海外の銅鉱山開発に取り組んでいる。日本は「エネルギー基本計画」で、銅などベースメタルの自給率(権益を持つ開発に関与している比率)を2030年に80%以上とする目標を掲げている。

日本企業はチリ銅鉱山の開発・運営で大きな役割を果たしてきたが、既存鉱山向けの新規投資、優良鉱山の開発には世界が注目し、権益獲得競争が激しくなっている。

QB2プロジェクトは今夏、投資計画の前提となる建設費を、当初予定の約47億米ドル(物価調整込み約52億米ドル)から、約75億米ドル(物価調整および将来の建設費増加リスク込み、基準為替775チリペソ/米ドル)に見直すことになった。パートナーのテック社が、7月の2022年第2四半期決算発表で、今後の為替見直しなどをもとに建設費予想を約69億米ドル～70億米ドルに引き上げたことなどを受けたもの。2019年の着工後、コロナの蔓延に伴う感染対策

費用、建設作業員の感染隔離や建設効率の低下などによる建設期間の長期化により、開発投資額が増加する見込みとなっている。

しかし、これまでの探鉱活動に基づく資源量評価の見直しにより、資源量(銅金属量)は、参入した2019年当時から約6百万トン増加し、将来の鉱山ポテンシャルが大きく向上した。プロジェクトは建設の終盤を迎え、徐々に操業チームへの完成設備

引き渡しに注力しており、2022年内の生産開始を目標に建設を進めている。

故銅市況

前週末1日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,660.50ドルより13.50ドル安の7,647.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,647.00ドルより36.25ドル高の7,683.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,560.00ドルより19.50ドル安の7,540.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,542.00ドルより18.00ドル高の7,560.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の341.80セントより0.55セント安の341.25セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の11月限は、前営業日の6万0,780元より290元高の6万1,070元。

3日の東京為替市場TTSレートは、前週末の145.81円より0.08円の円安ドル高、1ドル=145.89円。1日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,647.00ドル。この値と3日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の115万4,000円より1,000円安の115万3,000円。この日電気銅建値は115万円に引き上げられた。

為替動向

9月30日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=0.9790ドル～0.9800ドルで推移した。欧州の主要な株価指数が上昇、投資家のリスク回避姿勢が後退しユーロ買いドル売りが優勢になった。この日、EU統計局が発表した9月のユーロ圏CPI伸び率は前年同月比で10.0%と前月の9.1%から更に加速、統計を越える1997年以降で初めて2桁の伸びを記録した。市場予想の9.7%も上回っておりECBの大幅利上げ観測が意識されユーロ相場を押し上げた。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0130ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.1160ドル～1.1170ドルで推移した。英国のトラス首相は予算責任局トップらと協議。支持率急落で政権の掲げる大幅な財政出動に党内からも批判が強まっている。

9月30日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.30円の円安ドル高、1ドル=144.70円～144.80円で取引を終えた。この日発表された米国の8月PCEコア指数が前月比で前月の0.1%から更に加速0.6%となった。市場予想の0.5%も上回っておりインフレの高止まり観測からFRBが大幅な利上げを継続するとの見方が強まり円売りドル買いが進んだ。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

（10月3日更新）

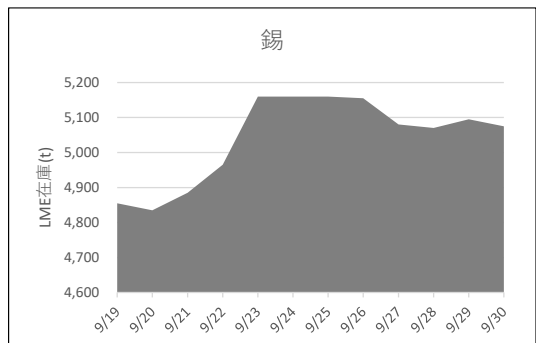
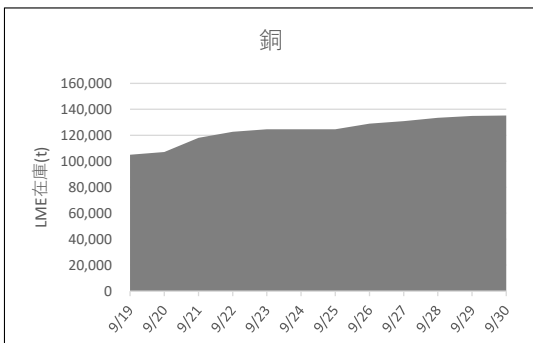
直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が998～1003、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは963～968、並銅は928～938、込銅（高品位＝約97%）は918、セバは666～671。コーベルは要り用筋で607、それ以外は592ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋617、それ以外587～597どころの値頃。並青銅鋳物削粉は812～817どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が978～998、上銅新くずが943～963、普通上銅が918～938、2号銅線が910～930、並銅が908～928、込銅（94-97%）が856、込銅（90-93%）が858、下銅が407～457、セバが631～666、コーベルが547～592、黄銅棒地が542～587、黄銅削粉が537～582、黄銅ラジが502～510、交叉ラジが534～591、黄銅鋳物が523～530、送りが282～301、上青銅鋳物が809～829、並青銅鋳物が789～804、上青銅鋳物削粉が804～824、並青銅鋳物削粉が779～799どころ。

3日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前週末17時と比べ0.54円の円安ドル高、1ドル=144.85円～144.86円で推移した。9月30日に発表された米国の8月PCE物価指数ではコア指数の上昇率が市場予想を上回った。インフレ高止まりへの警戒感から米国の長期金利は上昇、FRBによる積極的な金融引き締めが長引くとの見方が広がり円売りドル買いが優勢になった。円は対ユーロではほぼ横ばい。同じく0.02円の円安ユーロ高、1ユーロ=141.91円～141.93円だった。1日、イタリアのエネルギー大手、イタリア炭化水素公社はロシア国営のガスプロムからガスの供給が止まったと発表。ロシア産天然ガス供給懸念が再燃、欧州景気の先行き不透明感からユーロ売りドル買いが進んだ。

LME認定倉庫在庫推移 9月19日～9月30日(現地)



銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp

QRコード

大阪市大正区

木村金属株式会社

06-6552-7840



LME銅相場は反落 直物終値は7,683.25ドル
 COMEX銅相場はまちまち SHFE銅相場は続伸
 LME非鉄相場はまちまち アルミ直物終値は2,154.75ドル



1日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月30日入電の7,660.50ドルより13.50ドル安の7,647.00ドル。反落して0.18%安。この週2.70%の上伸。9月は月間で0.96%の下落。3か月物の前場売値は、9月30日入電の7,560.00ドルより19.50ドル安の7,540.50ドル。反落して0.26%安。この週1.76%の上伸。9月は月間で2.08%の下落。LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月29日の13万4,900トンより350トン増の13万5,250トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、10月限が、9月30日入電の344.00セントより0.20セント高の344.20セント。4営業日の続伸で3.88%高。この週2.09%の上伸。9月は月間で2.17%の下落。11月限は、9月30日入電の343.25セントより0.25セント安の343.00セント。3営業日ぶりの反落で0.07%安。この週1.81%の上伸。9月は月間で2.53%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、10月限が、9月30日入電の6万1,650元より400元高の6万2,050元。2営業日の続伸で1.75%高。この週0.77%の下落。9月は月間で0.18%の上伸。中心限月に当たる11月限は、9月30日入電の6万0,780元より290元高の6万1,070元。2営業日の続伸で1.45%高。この週1.48%の下落。9月は月間で0.89%の下落。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月30日入電の2万0,605.00ドルより145.00ドル高の2万0,750.00ドル。反発して0.70%高。この週3.08%の下落。9月は月間で12.08%の下落。3か月物の前場売値は、9月30日入電の2万0,600.00ドルより150.00ドル高の2万0,750.00ドル。反発して0.73%高。この週3.04%の下落。9月は月間で9.88%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地9月29日の5,095トンより20トン減の5,075トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月30日入電の1,856.00ドルより33.00ドル高の1,889.00ドル。3営業日の続伸で7.70%高。この週4.83%の上伸。9月は月間で3.13%の下落。3か月物の前場売値は、9月30日入電の1,867.00ドルより20.00ドル高の1,887.00ドル。3営業日の続伸で6.79%高。この週3.40%の上伸。9月は月間で3.23%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月29日の3万2,750トンよりトン減の3万2,750トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月30日入電の3,015.00ドルより29.00ドル安の2,986.00ドル。反落して0.96%安。この週1.61%の下落。9月は月間で15.65%の下落。3か月物の前場売値は、9月30日入電の2,972.00ドルより16.50ドル安の2,955.50ドル。反落して0.56%安。この週2.04%の下落。9月は月間で14.46%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月29日の5万3,900トンより275トン減の5万3,625トン。

アルミも反落 アルミ合金は横ばい 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月30日入電の2,261.00ドルより81.00ドル安の2,180.00ドル。反落して3.58%安。この週1.25%の上伸。9月は月間で7.96%の下落。3か月物の前場売値は、9月30日入電の2,273.00ドルより76.00ドル安の2,197.00ドル。反落して3.34%安。この週1.15%の上伸。9月は月間で6.79%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月29日の33万4,100トンより万1,925トン減の33万2,175トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月30日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月は月間で横ばい。3か月物の前場売値は、9月30日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月は月間で横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月30日入電より横ばいの2,475.00ドル。この週0.12%の下落。9月は月間で6.54%の上伸。3か月物の前場売値は、9月30日入電より横ばいの2,495.00ドル。この週0.20%の下落。9月は月間で7.78%の上伸。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月30日入電の2万2,900.00ドルより610.00ドル安の2万2,290.00ドル。反落して2.66%安。この週3.65%の下落。9月は月間で4.87%の上伸。3か月物の前場売値は、9月30日入電の2万2,710.00ドルより360.00ドル安の2万2,350.00ドル。反落して1.59%安。この週4.08%の下落。9月は月間で4.83%の上伸。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月29日の5万1,816トンより942トン増の5万2,758トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
 PW: nikkin202210

LME公示価格(US\$)／9月29日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,647.00	20,750.00	1,889.00	2,986.00	2,180.00	1,760.00	2,475.00	22,290.00
	前営業日比	▲ 13.50	145.00	33.00	▲ 29.00	▲ 81.00	0.00	0.00	▲ 610.00
	週間増減比	2.70%	▲ 3.08%	4.83%	▲ 1.61%	1.25%	0.00%	▲ 0.12%	▲ 3.65%
先物	公示価格	7,540.50	20,750.00	1,887.00	2,955.50	2,197.00	1,760.00	2,495.00	22,350.00
	前営業日比	▲ 19.50	150.00	20.00	▲ 16.50	▲ 76.00	0.00	0.00	▲ 360.00
	週間増減比	1.76%	▲ 3.04%	3.40%	▲ 2.04%	1.15%	0.00%	▲ 0.20%	▲ 4.08%

海外非鉄金属相場

(10月1日 入電・現地 9月30日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing monthly and daily prices for Copper (銅HG), Gold (金), Silver (銀), Platinum (プラチナ), and Palladium (パラジウム).

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for procurement prices (採算価格) listing metals like Copper, Gold, Silver, Aluminum, and Nickel with prices in Yen and US Dollars.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table for US producer prices showing prices for Silver (銀) in different forms.

■NY相場

Table for NY market prices for Copper and Tin.

■ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices in Dollars for various metals like Gold, Silver, and Tin.

■KLT M錫(MYR/KG、出来高トン)

Table for KLT M Tin prices showing current market prices and exchange rates.

■LME在庫(トン)

Table for LME inventory showing stock levels for Copper, Tin, Silver, and Aluminum.

■上海在庫(トン)

Table for Shanghai inventory showing stock levels for Copper, Aluminum, Silver, and Nickel.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table for LME pre-market prices for Copper, Tin, Silver, and Aluminum.

■上海相場

Table for Shanghai market prices showing prices for Copper, Aluminum, Silver, and Nickel.

※3日のKLT Mは取引がありません。

非鉄金属製品相場

(10月3日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◎ 1460	◎ 1435	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◎ 1510	◎ 1485	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◎ 1590	◎ 1635	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◎ 1630	◎ 1635	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1550	◎ 1555	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◎ 1370	◎ 1405	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◎ 1425	◎ 1450	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	◎ 1450	◎ 1465	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	◎ 1380	◎ 1405	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	◎ 1650	◎ 1635	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1205	◎ 1250	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1679
〃 0.3ミリ	◎ 1235	◎ 1280	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2583
黄銅大板2×1×2	◎ 1355	◎ 1430	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	◎ 1730	◎ 1730	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	◎ 1700	◎ 1700	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	◎ 985	◎ 1080	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◎ 1015	◎ 1110	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	◎ 1045	◎ 1140	白金(グラム)		◎ 4521	4C×2 168-172
鍛造用	◎ 1025	◎ 1120	パラジウム(グラム)		◆ 11335	6C×2 237-243
ネーバル	◎ 1125	◎ 1220	金(グラム)		◎ 8583	7C×2 271-278
高力	◎ 1125	◎ 1220	銀(キログラム)		◎ 100870	合金鉄 8月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◎ 1380	◎ 1430	レアメタル輸入価格	8月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 185
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1580	◎ 1640	金属ケイ素(99.99%未満)		487	〃 その他 345.8
黄銅条1.5×100	◎ 1200	◎ 1265	モリブデン酸化物		3759	フェロシリコン55%以上 337
リン青銅板一般用1.0ミリ	2540	2730	タンタル		65085	フェロクロム4%以上炭素含有 330.5
〃 バネ用0.3ミリ	2780	2980	マグネシウム		512	フェロモリブデン純分60%以上 4033
リン青銅棒25ミリ	2700	2910	コバルト		10464	フェロバナジウム 4010
リン青銅線3ミリ	3010	3220	インジウム		28300	フェロニッケル33%未満 875.6
洋白板一般用1.0ミリ	3580	3730				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3750	3910				

減 摩 合 金	10月3日改定	銅 合 金 地 金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4085	BC 1種	1215
2種	3990	2種	1535
3種	3880	3種	1615
4種	3420	6種	1295
5種	3240	7種	1425
7種	1260	YBSC 3種	1095
8種	1130	LBC 3種	1560
9種	960	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(10月3日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 45,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	◎1042	◎1039	電 気 銅	◎1117	◎1112	◎1119	◎1114	山元建値	電気銅	1150(3)	金	7,784(3)
2号銅線	◎1000	—	電 気 亜 鉛	◎477	◎471	◎477	◎471	() 実施日	電気鉛	336(3)	銀	90,530(3)
上銅(新切)	◎1013	◎1007	蒸 留 亜 鉛	◎465	◎459	◎465	◎459		電気亜鉛	490(3)	錫(99.99%)	4,450(3)
雑ナゲット	◎871	◎869	再生ダイカスト亜鉛2種	◎358	◎352	◎358	◎352					
並銅	◎955	◎937	再生亜鉛(98%)	◎312	◎306	◎312	◎306					
下銅	◎936	◎908	電 気 鉛	◎309	◎306	◎309	◎306					
銅削粉	◎930	◎911	再 生 鉛 1 号	◎283	◎273	◎288	◎283					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	◎290	◎286	◎293	◎289					
新切黄銅セバ	◎788	◎794	錫 1 号	3250	3200	3250	3200					
コーベル	◎756	◎752	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950					
黄銅棒地	◎754	◎740	ニッケル(メッキ用)	3300	3250	3300	3250					
黄銅削粉	◎748	◎736	コ バ ル ト	9000	8700	9000	8700					
並黄銅	◎650	◎627	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900					
黄銅ラジエター	◎568	◎554	ビ ス マ ス	1450	1350	1450	1350					
交叉ラジエター	◎598	◎578	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄銅鑄物	◎655	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	525	505	525	505					
山送り(55%)	370	—	アルミ地金99.70%	◎360	◎356	◎362	◎358					
上青銅鑄物	◎818	—	アルミ二次地金99%	295	290	295	290					
並青銅鑄物	◎816	◎805	〃 90%	263	258	263	258					
上青銅鑄物削粉	◎811	—	アルミ二次合金ADC12	407	402	410	405					
並青銅鑄物削粉	◎801	◎790	鑄物用C2BS	432	427	434	429					
新切リン青銅(伸銅)	—	◎1043	青銅合金地金3種	◎1565	◎1555	◎1600	◎1590					
〃 (鑄物)	◎934	—	〃 6種	◎1255	◎1245	◎1290	◎1280					
リン青銅削粉	◎852	◎845	ハンダ錫60%	2720	2680	2740	2710					
新切洋白(電子材)	◎860	◎848	〃 50%	2350	2300	2370	2340					
新切亜鉛	◎246	◎246	〃 40%	2045	1985	2000	1970					
ダイカストくず	◎211	◎211	減摩合金2種	3960	3930	3965	3935					
亜鉛ドロス	◎189	◎200	〃 4種	3375	3350	3380	3350					
上鉛	◎140	◎138	〃 7種	1190	1140	1190	1140					
電池素鉛ケース込	25	25	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		75	75					
活字鉛	◎125	◎122	〃 ダライ粉			60	60					
新切アルミ1級	242	244	高耐食ステンレスSUS316			210	210					
新切サッシ1級	242	242	耐熱ステンレスSUS310			365	365					
新切合金1級	227	222	13クローム 新切			21	24					
機械鑄物1級	165	172	ハイス 9種			205	205					
ビス付サッシP	195	192										
合金削粉P	110	115										
込ガラP	105	107										
カン・バラ	160	161										

非鉄金属材料相場面

PW: nikkin202210